

文学部の紹介

場所: <http://web.kanazawa-u.ac.jp/~letters/FLJH.html>

金沢大学 文学部 大学院文学研究科

金沢大学文学部は3学科17コースから構成されています。
各学科にはそれぞれ大学院修士課程があり、さらに独立大学院として社会環境科学研究科（博士課程）が設けられています。

[社会環境科学研究科のホームページはこちら](#)

人間学科（文学研究科哲学専攻）

- 心理学コース
- 社会学コース
- 文化人類学コース
- 比較思想コース
- 哲学コース

史学科（文学研究科史学専攻）

- 日本史学コース
- 東洋史学コース
- 西洋史学コース
- 考古学コース
- 地理学コース
- 国際文化交流史コース

文学科（文学研究科文学専攻）

- 日本語学日本文学コース
- 中国語学中国文学コース

文書: 完了。

私ども文学部は、人間学科（5コース）、史学科（6コース）、文学科（6コース）の3学科で構成されています。金沢大学の公式ホームページ運用開始前から、1, 2のコースでホームページ作成の希望があったため、リンクボタンとして機能する学科・コース一覧表を、文学部トップページとして掲載してまいりました。本年より、金沢大学公式ホームページがいよいよ運用開始されたわけですが、しばらくはそのまま、一覧表のみのトップページを続けてきました。公式トップページとして何らかのメッセージを発信するとなると、当然のことながら1人しかいない委員の一存で、

というわけにはゆきません。かと言って、逐一教授会の審議を経て、というのでは、あまりにも小回りが効かなすぎます。幸い、私どもの学部には広報委員会という、学部からの情報発信を担当する委員会があります。この委員会の任務は、年3回の「文学部広報」の発行と、毎年更新する「文学部案内」の編集・発行です。これらはともに、印刷物です。私は、文学部ホームページ委員をお引き受けするにあたり、ホームページ委員と広報委員が協力し、文学部の公式トップページを作成することを教授会に提案し、認められました。こうして、新しい文学部トップページへの取り組みが始められることになりました。

学科・コース名のリンクボタンだけではもの足りないことは当然です。かと言って、どのようなメッセージが有意義なのか、現状ではまだ見通しが立っていません。そこでとりあえず、広報委員会が作成している「文学部広報」の中から、学内・学外の皆さんにお知らせすることが適当と思われる記事を転載することに致しました。印刷物の「文学部広報」は、文学部の学生・院生の皆さんへ文学部の状況をお知らせすることを目的として発行しているものです。新任・退任教官の挨拶や卒業生の就職先状況、新しく入学した1年生のコース分属志望調査などを掲載しております。これらのうち、挨拶などの個人記事に関しては執筆者の了解を得た上で、またデータ情報については広く関心もたれると思われるものを転載することにしました。本年度の印刷物「広報」第1号が7月に発行されたのを機に、私どものホームページにその内容をほぼそのまま転載することになりました。是非一度、ご覧になってください。今後は、学部内外の方々からのご意見を取り入れて、充実を図ってゆきたいと考えております。

文学部ホームページにリンクをはっているコースは、1997年7月時点で、「心理学コース」「ドイツ語学・ドイツ文学コース」「フランス語学・フランス文学コース」の3つだけですが、まもなく「比較思想コース」「西洋史学コース」「社会学コース」もリンク予定です。この記事が公表される頃には、これらのコースも加わり、少しにぎやかになっていると思います。

各コースのホームページの内容については、全面的にコースの自主性に委ねております。ほとんどのコースが出そろってくると共通に掲載すべき事項なども考えてゆくべきなのでしょうが、現時点では他のコースがまねたくなるようなアイデアを出し合うのがよいことと考えております。ただし、相談にこられた各コースの担当者には、映像的に懲りすぎてアクセス時間がかかりすぎないようお願いしています。軽くて読みよいデザイン、そして何よりも内容豊かなメッセージの発信を目指してもらいたいと考えております。

各コースからの新たなリンク・アップ要望については、個別に対応しています。情報発信の必要性を感じているコースがあっても、技術的なサポートが得られないため実現できないようでは残念ですので、構築に向けての実際的なお手伝いができるよう心がけております。その点では、総合情報処理センターのスタッフにも親身になってサポートしていただいております。私どもの学部関係者一同、感謝しております。また、各コースには、インターネットに興味のある院生や学生が必ずいますから、たとえ教官スタッフが自ら手を下せなくても、前向きな姿勢さえあれば、構築できると考えております。かくいう私の場合も、いただいた相談には実質的に院生の世話になって対応しております。

一旦構築した各コースのホームページは、適時更新していただくよう、お願いしております。印刷物での情報発信とは異なり、常に新しいタイムリーな情報を掲載できるのがホームページの最大の長所です。更新にあたっては、各コースのホームページ担当者の責任において、自由に行ってもらっています。世の中では、青少年に悪影響を及ぼすような内容や、物品の販売に関するトラブルなどが問題となっています。大学からの情報発信にふさわしい内容である限り、自由で活発な各コースの活動状況を生き生きと伝える情報を満載したホームページづくりが育ってゆくよう願っております。

(文責： 金沢大学公式ホームページ文学部委員 吉村 浩一)